

■石原裕次郎 俳優。兄慎太郎の小説の映画化「太陽の季節」でデビュー、「狂った果実」など“太陽族”として一世を風靡。

いしはらゆうじろう

帝人疑獄事件1934= 神戸の須磨で、{山下汽船}の高級職員の次男として石原慎太郎の2つ年下に生まれ、

日中戦争始・1937= 3歳：父が小樽支店長になったのに伴い、小樽に移住して、王子様のような生活を体験、

日米開戦・・・1941= 7歳：

創価学会検挙1943= 9歳：逗子に転居、今度は周囲が父より上のクラスの人たちばかりという環境の中、

敗戦・・・・・・1945=11歳：

いわゆる“湘南族”として不良少年時代を送り、ようやくヨットを買って貰うなどするうち、

朝鮮戦争始・1950=16歳：

独立回復・・・1951=17歳：

メテオ事件・1952=18歳：慶応高校在学中、父が死去、

TV放送始・・・1953=19歳：慶応大学法学部に入学、

55年体制始・1955=21歳：_兄慎太郎が「太陽の季節」を発表して、

国連加盟・・・1956=22歳：*{芥川賞}をとると、小樽出身で女優から{日活}のプロデューサーになっていた水の江滝子が映画化するのにあわせて、慶大を中退して{日活}に入社、その端役に出演してデビューした。続く“太陽族”映画「狂った果実」に主演して大ヒット、一気にドル箱スターに押し上がり、さらに「乳母車」、

なべ底不況・1957=23歳：_「俺は待ってるぜ」を経て、

インストメン・1958=24歳：_「嵐を呼ぶ男」が空前の大ヒットとなり、{ブルーリボン新人賞}を受賞、日本中の若者がスタイルを真似、

美智子妃・・・1959=25歳：*{日活}全配給作品の配収上位6本を主演作が占めるに至った。

安保闘争・・・1960=26歳：北原三枝と結婚、

イタイイタイ病始・1961=27歳：

TV宇宙中継始1963=29歳：*{石原プロモーション}を設立、「太平洋ひとりぼっち」を製作して{芸術祭賞}を受賞。テレビ番組「今晚は、裕次郎です」がスタート、

東京オリンピック 1964=30歳：

全共闘ピーク・1969=35歳：*一度は五社協定に阻まれて三船敏郎の起用が危うくなるものの、兄の尽力で突破して製作した「黒部の太陽」が大ヒットするとともに、芸能人長者番付で、美空ひばりを抜いてトップとなり、この年、兄が参議院全国区に当選したが、足場が資産階級に移ったこともあって、急速に人気下落し始め、

大阪万博・・・1970=36歳：

日中国交回復1972=38歳：テレビドラマ「太陽にほえろ」がスタートする一方、いわゆる“石原軍団”を形成して活動を続けるものの、

石油ショック1973=39歳：

<高度成長>が終るとともに、さらに役割が減少、

革新大敗北・1979=45歳：

・・・・・・1981=47歳：_解離性大動脈瘤で入院、

中曽根内閣・1982=48歳：

竹下内閣・・・1987=53歳：_肝臓癌で没した。